

～青の都～サマルカンド

サマルカンドは、ウズベキスタンの中でも最も象徴的で美しい“青の都”と呼ばれる場所です。シルクロードの中心として栄えた歴史がそのまま街に息づいていて、ほかのアジアにはない観光スポットが数多くあります。



タシケントからのアクセス
特急列車にて約2時間半



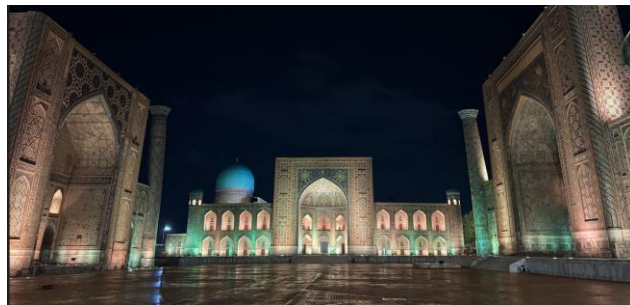
シャーヒ・ズィンダ廟群

サマルカンドの中でも
最も神秘的で美しい“青の回廊”
として知られる場所です。

レギスタン広場



3つの巨大なメドレセ（神学校）が並ぶ「砂の場所」の意味をもつ広場で、定番の観光スポットの一つです。夜のライトアップがとてもきれいです。





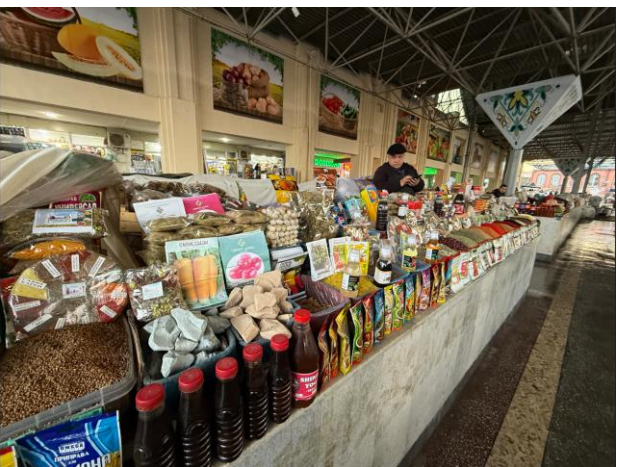
コニギル紙工房

サマルカンド郊外にある“伝統的な手すき紙を今も作り続ける工房”です。敷地内は水車が回るのどかな工房。工房は川沿いにあり、水車がゆっくり回る風景がとても美しいです。サマルカンド中心部の喧騒から離れ、のんびりした雰囲気が味わえます。



ウルグベク天文台

天文学者ウルグベクが建てた世界最先端の天文台で、天文学者・数学者としても天才的な人物でした。彼が1420年代に建てたのが、この天文台です。当時の天文台としては驚くほど精密で、星の位置を現在の数値とほぼ同じ精度で測定していたと言われています。



ショブ・バザール

サマルカンド最大の生活市場です。地元の人が毎日の食材や日用品を買いに来る、活気あふれるバザール。観光客向けというより、本物のローカル文化が味わえます。バザールに行けば、現地の人々の生活を垣間見ることができますね。